

西尾市事務事業評価シート

事務事業No.	5		事務事業名 (中事業名)	車両管理事業 ()					
予算科目	02	01	07	大事業	02	中事業	00	担当課名	財政課
総合計画施策コード	646		事務開始年度	不明		備考			
根拠法令等	-		作成月	令和3年9月					

事業の概要

●事業の内容【PLAN】

事業の目的 (どうするために)	市の事務事業遂行のために使用する公用車を管理する。
事業の対象 (誰(何)のために)	市職員
事業の概要 (具体的に何を)	本庁舎及び支所の既存公用車の維持管理、バス運行、老朽化した公用車の更新、車両の台数管理、市公用車の交通事故対応

●事業費の内訳【DO】

項目	令和元年度(決算)	令和2年度(決算)	令和3年度(予算)	
事業費①	19,707,882円	20,561,839円	27,923,000円	
事業にかかる人工	1.00人	1.00人	1.00人	
事業にかかる人件費②	7,187,558円	7,266,452円	7,282,778円	
総事業費③(①+②)	26,895,440円	27,828,291円	35,205,778円	
総財源業内費 の ③	使用料・手数料	0円	0円	0円
	国からの支出金	0円	0円	0円
	県からの支出金	0円	0円	0円
	市費	26,895,440円	27,828,291円	35,205,778円
	その他	0円	0円	0円
R2 総事業費③の対前年度差額	932,851円	R2 総事業費③の対前年度比率	3.47%	
事業費の増減理由 (対前年度比10%超の場合記入)				
事業費の中の 主な支出項目 (R2決算額)	項目	概要	金額	
	修繕料	車検代44台分、修理費64台分、バス長寿命化修理	7,998,845円	
	自動車損害保険料	市公用車331台分	5,461,222円	
	燃料費	財政課集中管理車79台分、私有車公務使用分	5,020,197円	

●指標の設定【DO】

(事業の実施にあたり、どれだけの成果(成果指標)を得るために、どれだけの活動(活動指標)をするか。)

成果指標	○事業で得たい成果を示すもので、受益者(市民)の観点から捉えた具体的な効果や効用(アウトカム)事業の目的						
	具体的な指標	集中管理車の稼働日率(稼働日÷本庁舎開庁日数)の向上					
	指標の推移	令和元年度	単位	令和2年度	単位	令和3年度	単位
	目標値	90	%	90	%	90	%
	実績値	84	%	77	%	*****	
活動指標	○事業全体の結果を示すもので、具体的な活動量や活動実績(アウトプット)						
	具体的な指標	集中管理車の台数					
	指標の推移	令和元年度	単位	令和2年度	単位	令和3年度	単位
	目標値	82	台	79	台	75	台
	実績値④	82	台	79	台	*****	
活動一単位当たりのコスト(③÷④)		令和元年度		令和2年度		令和3年度	
		327,993円		352,257円		*****	

●担い手の点検と事業の終期【D0】

事業の委託状況	委託していない	委託の内容	
事業の終了時期	終了しない	事業の終了時期が未定の場合、事業の抜本的な見直し時期	無し
事業の終了時期が未定の場合の理由	市の事務事業に車両が必要とされる限り、当事業は必要となるため。		

評 価

●個別評価【CHECK】 ◎:適正 ○:概ね適正 △:適正ではない -:いずれにも該当しない

評価項目	評価項目		評価項目		
	評価	評価	評価	評価	
妥当性	市が関与することが適切か(委託・民営化は不可能)	○	効率性	単位コストは、前年を下回っているか	○
	国・県・市・民間との役割は適切か	◎		事業実績や目的に対して費用がかかりすぎているか	○
	変化する社会情勢の中で、事業の意義は失われていないか	◎		委託等、手段を変更してもコスト削減は期待できないか	○
	事業に対する市民ニーズを把握しているか	◎		事務の手段を工夫しても業務時間は短縮できないか	○
有効性	事業の目的は達成できているか	◎	公平性	受益者に偏りはないか	—
	事務を継続することで、成果の向上が期待できるか	◎		受益者負担を求めている、また、求めている状況は適切か	—
	事務成果が上位施策の目標達成に貢献しているか	◎		受益者負担の割合は適切か	—
	他市町村と比べて上位に位置しているか	—		サービスの提供方法に公平性を欠いていないか	—
評価の総合的なコメント	妥当性、有効性においてはほぼ適正だと考えているが、効率性においては、あらゆる面から効率的な事務の実施を検討していかなければならないと考えている。				
事業の方向性	(評価)	1 今後も、ほぼ現行どおり(事業の内容・規模・手法)進める			
	(理由)	市の事務事業に車両が必要とされる限り、当事業は必要となるため。			
民間委託又は市民協働拡大の方向性	管理業務の民間委託について、メリット、デメリットを精査し、検討したい。				
事業全体の課題	●適正な所有台数の把握 ●管理業務の民間委託の是非 ●予約状況と実際の使用状況との乖離の解消 ●交通事故の減少(防止)				

●近隣の状況【CHECK】

同類事業の近隣市の実施状況	公用車の車両管理事業は近隣市全てで実施している。
---------------	--------------------------

●参考意見等【CHECK】

市民サービス向上に向けた意見等	「ドライブレコーダーの正常作動の確認」(他課職員意見)→ドライブレコーダーのディスプレイの初期設定を変更して常に表示させるようにし、作動状況の確認を容易にした。/「長期貸出車両の他部署職員へ貸出可能な日時を明らかにする」(他課職員意見)→長期貸出車の利用状況を可能な限り予約システムに反映させるようにした。
-----------------	---

●改善案【ACTION】

今後の改善策	●稼働率等を踏まえて、公用車を利用する事務事業に支障の無い範囲で台数削減を図る。/●共用車の鍵置き場に予約システム入力用の端末を設置して予約内容の変更漏れを防止し、予約状況と実際の使用状況との乖離の解消を図る。
--------	---